

## トピックス

第45回謝恩価格本フェア参加出版社を募集	1
書協・新入社員研修会2026開催	1
文化庁翻訳コンクール授賞式	2
アクセシブルなEPUB制作ガイドブック説明会	3

一般社団法人日本書籍出版協会

## 第45回 謝恩価格本フェア 参加出版社を募集！

(一社)日本書籍出版協会(=書協、小野寺優理事長)は、再販制度の弾力運用の一環として、期間限定・インターネット限定で、**第45回出版社共同企画 謝恩価格本フェア**を「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)に続けて、ゴールデンウイーク明けの5月12日(火)から7月13日(月)まで開催する。商品は本体価格の45%引きで販売され、今回も仕入れ・清算・返品は楽天ブックスネットワーク、読者への販売等は楽天ブックスが行う。

現在、参加出版社を募集しており、募集概要は、日本書籍出版協会[ホームページ](#)にて公開している。

取り扱い商品は、ジャンルを問わず、発行後1年以上を経過した良本で、商品にISBNが明記されている書籍、ムック、マルチメディア商品なども含むが、古いカレンダーや手帳は原則対象外としている。

◆申込み方法◆ 3月2日(月)までに書協宛(shaon@jbpa.or.jp)にメールで送付。申込みを受け付け次第、スケジュール等を申込社に返送する。

### ◇前回(第44回)報告◇

「読書週間」を中心に、2025年10月23日から12月25日まで、第44回フェアを開催し、出版社106社の4,625アイテムを本体価格の45%引きで販売した。売上金額は約3,854万円、返品率は15.6%。売上金額・冊数ともに過去最高を記録。返品率も前回より3%減少した。好調だった要因としては、搬入から在庫までの短縮化をはかり販売機会を最大化する改善や、フェアの定着等があげられる。

売上金額のジャンル別の主な内訳は、「絵本・児童書・図鑑」60.2%、「人文・思想・社会」8.6%、「語学・学習参考書」7.0%、「美容・暮らし・健康・料理」5.9%、「木ビー・スポーツ・美術」4.1%、「エンタメ・ゲーム」4.0%となつた。

(問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-6273-7061)

## 第59回造本装幀コンクール 作品の募集開始

第59回造本装幀コンクール(主催:日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会)は、現在、出品作品を募集している。審査会は6月初旬を予定。

昨年は、誠品生活日本橋や広島T-SITE・広島蔦屋書店で、受賞作の一部を販売・他の受賞作はパネル展示をする造本装幀コンクールフェアを展開した。また、受賞者によるトーキングイベントも開催し、業界のみならず広く一般に作品書籍、ブックデザインの魅力をアピールした。

受賞作品は、ドイツ・ライプチヒで毎年2月に行われる「世界で最も美しい本コンクール」に出品され、印刷や製本を含めた日本の高い造本・装幀技術が評価されている。

今年も展示や企画等を通じて、魅力ある本を広く発信することを目指しており、多くの出品を募っている。

### ◆募集概要

募集締切:4月30日(木)まで

出品資格:出品書籍の制作にたずさわった者

出品作品:2025年1月1日から2025年12月31日までに初版発行された書籍

出品料:6,050円(税込)／1点(1冊)

詳細:<https://www.jbpa.or.jp/zohon/zohon-ohbo.html>

(問合せ 同事務局 TEL 03-5211-7282)

## 書協・新入社員研修会2026 オンラインにて開催

(一社)日本書籍出版協会(=書協)は出版社の新入社員を対象に新入社員研修会をオンラインで開催する。本研修会の概要は以下の通り(最新情報は[書協HP](#)に掲載)。

日程・講師:(予定)

4月21日(火)

15時～16時30分【営業】東山健氏(中央公論新社)

4月23日(木)

10時30分～12時【書店】益子陽介氏(川又書店エクセ

ル店)

15 時～16 時 30 分【編集】田中怜子氏（ダイヤモンド社）

4月 24 日（金）

10 時 30 分～11 時 30 分【流通】伊澤亮一氏（小学館）

15 時～16 時 30 分【電子】溝口敦氏（MyAnimeList）

研修方式：オンライン研修（Zoom ウェビナーを使用）

対象：2026 年度に出版社へ入社する新入社員

（中途入社、若手社員の方も歓迎）

定員：150 名（会員優先、先着順）

受講料（テキスト代含む）：

書協会員 17,600 円（税込）、会員外 24,200 円（税込）

※5 講座一括受講の料金のため、個別申込は不可。

※新入社員のためのテキスト 3 点を事前に送付。

申込み方法：[申込 URL](#) より、受講申込書（Excel）をダウンロードし、必要事項を記入の上メール（kensyu@jbpa.or.jp）にて提出。

申込締切：3 月 31 日（火）※早めの申込みを推奨。

（詳細問合せ 書協 ☐ kensyu@jbpa.or.jp）

## フランクフルト・ブックフェア 出展社募集 2月下旬締切予定

（一社）日本書籍出版協会（＝書協）では、日本の出版版権の海外市場拡大に向けた支援を行っており、10月のフランクフルト・ブックフェア（FBF）でのジャパンブースの展開を計画しており、出展社を募集している。

今年の FBF は、10 月 7 日（水）から 11 日（日）に開催し、書協は、200 m<sup>2</sup>以上のジャパンブース展開を企画中。

世界最大級の版権商談イベントである FBF での 2025 年のジャパンブースの商談件数は 700 件以上、オファー件数は 320 件以上を達成し、日本の多様な分野の出版コンテンツの版権商談が行われた。

ジャパンブースへの出展を検討・相談したい方は、以下の問合せ先で相談を受け付けている（補助金申請のため出展申込締切は 2 月下旬を予定）。

（問合せ：書協 ☐ jbpa.international@jbpa.or.jp）

## スペイン政府 翻訳助成金公募のお知らせ

スペイン文化省は、毎年スペイン国外の出版社等の団体に対し、スペイン語及びスペイン公用語で出版された作品

の翻訳費を助成しており、今年も募集が開始された。

・申請締切：2 月 13 日（金）

・助成プログラムの詳細と申請は[こちら](#)（スペイン語）。

在日スペイン大使館では、申請書類の準備などのサポート業者（有料）の紹介の相談も受け付けている。

（問合せ 在日スペイン大使館経済商務部

✉ tokio@comercio.mineco.es）

## 文化庁翻訳コンクール授賞式

### 著名文芸作家を招聘し開催

（特非）映像産業振興機構（VIPO）が委託を受け、（一社）日本書籍出版協会が協力する文化庁「令和 7 年度活字文化のグローバル展開推進事業」では、日本の文学作品の優れた翻訳家を発掘・育成することを目的として、翻訳コンクールを実施している。本事業の第 10 回文化庁翻訳コンクール受賞者の授賞式およびシンポジウム「国際文芸フォーラム 2026」が 2 月 12 日に開催される。

### 「国際文芸フォーラム 2026」開催概要

詳細：<https://www.jlpp.go.jp/literaryforum2026/>

日時：2 月 12 日（木）15 時～18 時 15 分

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター、sola city Hall（2 階）

### 【プログラム】

15:00～15:50 第 10 回文化庁翻訳コンクール授賞式

16:00～17:00 シンポジウム第 I 部「作家×翻訳家の共鳴力～世界に向けて「推し」を叫ぶ～」柚木麻子（作家）、王谷 晶（作家）、サム・ベット（日本文学翻訳家）、モデレーター：鴻巣友季子（翻訳家、文芸評論家）

17:15～18:15 シンポジウム第 II 部「文芸のポテンシャル～作家と語るグローバルビジネスのフロンティア～」桐野夏生（作家）、小川哲（作家）、森健一（株式会社タトル・モリ エイジエンシー代表取締役社長）、モデレーター：新井宏（株式会社文藝春秋ライツビジネス局長）

一般的の申込みの募集は終了しているが、2 月 10 日まで取材の申込みについては受け付けている（詳細は[こちら](#)）。

また、各シンポジウムは、文化庁「活字文化のグローバル展開推進事業」YouTube Channel でアーカイブ動画（[youtube.com/@KATSUJIBUNKA](https://youtube.com/@KATSUJIBUNKA)）を公開予定。

（問合せ 同事務局 ☐ jppp\_vipo@vipo.or.jp）

## アクセシブルな EPUB 制作のための ガイドブック説明会

読書バリアフリー法への取り組みの一環として、デジタル出版者連盟と日本出版インフラセンターのアクセシブル・ブックス・サポートセンター（ABSC）が中心となり、アクセシブルな EPUB 制作のための「**アクセシブルな EPUB 制作ガイドブック**」が作成された。

それに伴い、2月9日、2月10日に説明会が開催される。説明会（主催：経産省、協力：電書連、ABSC）では、ガイドブックの内容と意義を紹介するとともに、出版社、EPUB 制作者、電子書店、電子書籍ビューア開発者など、それぞれの立場に応じた実務上のポイントや活用方法について解説される。

### ■ 開催概要（参加費無料・事前申込制）

日時：

第1回（出版社・EPUB 制作者対象）

2月9日（月）16時～18時

第2回（電子書店・電子書籍ビューア開発者対象）

2月10日（火）16時～18時

開催方法：会場およびオンライン（Zoom ウェビナー）

開催場所：[日本出版クラブ](#) 4F 401/402号室

プログラム（予定）

- ・アクセシブルな電子書籍の必要性（改正障害者差別解消法、読書バリアフリー法の背景と方向性）
- ・WCAG 2.2／EPUB Accessibility 1.1 の概要
- ・アクセシブルな EPUB 電子書籍をどのように制作するか
- ・質疑応答

申込方法：[申込フォーム](#)

（問合せ アライド・ブレインズ Tel 03-3261-7431）

## 学校図書館整備推進会議

### シンポジウム

学校図書館整備推進会議は、特別支援学校の図書館整備や学校司書配置の現状と改革の方向を明らかにするため、3月5日にシンポジウム「**特別支援学校の教育環境の現状とその改革に向けて**」を開催する。

日時：3月5日（木）13時～15時30分

会場：出版クラブホール（東京都千代田区神田神保町

1-32 出版クラブビル3階）

定員：150名（先着順）

参加費：無料

テーマ：「特別支援学校の教育環境の現状とその改革に向けて」シンポジウム

パネリスト：

野口武悟氏（専修大学文学部教授）

加藤圭子氏（横浜市立北綱島特別支援学校 学校司書）

田中喜美江氏（長野県飯島町立飯島中学校 学校司書）

コーディネーター：

宇野和博氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

詳細・申込先：<https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2026/01/15/10505/>

（問合せ 学校図書館整備推進会議 Tel 03-6273-7484）

## 文化庁・クリエイター等支援事業

### オンラインセミナー

文化庁の補助金により独立行政法人日本芸術文化振興会に設置された「文化芸術活動基盤強化基金」のもと、次代を担うクリエイターや専門人材等の国際的な活躍を視野に入れたクリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）が2025年度より展開されることとなった。特に成長著しい北米市場をターゲットに、国内外セミナーや現地出版社との商談を経て、翻訳・ローカライズ・契約・プロモーションといった“実務スキル”を備えた編集者とライツ担当者の育成と、3年間でライツ担当者や編集者が自ら海外展開を推進できる体制づくりを支援する。

その一環として、ライツ担当者および編集者を対象に、海外出版ビジネスの実態と展望について、海外にて多くの日本IP版権展開事業に従事している講師によるセミナーを開催する。

日時：2月18日（水）14時～15時30分

登壇：伊東敦（一般社団法人 ABJ）、炭田真也（エヌ・ティ・ティ・ソルマーレ株式会社）、竹村響（株式会社日本文芸社）

内容（予定）：

海外での海賊版問題の現状について、北米での電子書籍市場の現状について、「北米における電子漫画市場の展望」をテーマに掲げ鼎談など

参加方法：[申込フォーム](#)（先着100名、費用無料）

（問合せ 海外MANGA人材育成委員会事務局

✉ kmji-support@kmh.kadokawa.co.jp

# 第59回造本装幀コンクール 作品募集のご案内

応募締切：2026年4月30日[木]

主催

日本書籍出版協会  
日本印刷産業連合会

「造本装幀コンクール」  
公式アカウント

— X  
@bookdesign\_jp  
— Instagram  
bookdesign\_jp

造本装幀コンクールは、造本装幀にたずさわる方たち「出版、印刷、製本、装幀、デザイン」の成果を総合的に評価する国内で唯一のコンクールです。  
「美しい本」づくりへの意欲を高めることともに造本技術・装幀・デザインの素晴らしい、本の持つ魅力を広くアピールし、  
ひいては出版文化産業の発展に寄与することを目的とします。

入賞作品は、ドイツ・ライプツィヒの「世界で最も美しい本コンクール(Best Book Design from all over the World)」に日本を代表して出品され、  
フランクフルト・ブックフェアで展示されます(予定)。

## 審査員

審査は、審査員全員による予備選考後、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞の三賞および審査員奨励賞は、学識経験者、装幀家・デザイナー、読者代表、印刷・製本の専門家による選考、その他の賞は各団体による選考をおこないます。

### [学識経験者]

- 浜田桂子 | はまだけいこ | 絵本作家  
田中一光デザイン室勤務後デビュー。著書:『へいわってどんなこと?』他多数。  
日本児童出版美術家連盟、日本文藝家協会、日本ペンクラブ会員
- 寺本美奈子 | てらもとみなこ | キュレーター  
印刷博物館「世界のブックデザイン」展を企画。「世界で最も美しい本コンクール2010」の審査員を務める。実践女子大学・武蔵野美術大学非常勤講師。

### [装幀家/デザイナー]

- 秋山伸 | あきやましん | グラフィック・デザイナー/ブック・メイカー  
タイプグラファー、ブック・メイキングを専門とする。神戸芸術工科大学教授、多摩美術大学絵画学科客員教授、名古屋芸術大学芸術学部特別客員教授。
- 濱崎実幸 | はまさきじつゆき | ブック・デザイナー  
1996年より装幀を専業とする。ジャンルを問わず多くの書籍デザインに携わり、『galley』で第48回造本装幀コンクール文部科学大臣賞を受賞。

### [読者代表]

- 中江有里 | なかえゆり | 女優・作家・歌手  
NHK『週刊ブックレビュー』で長年司会を務めた。著書に小説『愛するといふことは』(新潮社)、『万葉と沙羅』(文春文庫)などがある。文化庁文化審議会委員。

### [造本スペシャリスト]

- 岩瀬学 | いわせまなぶ | 製本コンシェルジュ  
製本コンシェルジュとして、技術的な観点から製本仕様に関するアドバイスをおこなう。印刷工業会所属。
- 渡邊博之 |わたなべひろゆき | 製本マイスター・指導員  
製本マイスターとして、技術的な観点から製本仕様に関するアドバイスをおこなう。全日本製本工業組合連合会所属。

[主催]——(一社)日本書籍出版協会、(一社)日本印刷産業連合会

[後援官公庁・団体] [予定]——

文部科学省、経済産業省、東京都

(公社)読書推進運動協議会、(公社)日本図書館協会、

日本製紙連合会、(一財)出版文化産業振興財団

[協賛]——(一財)日本出版クラブ

## 選考条件

出版社、デザイナー、印刷会社、製本会社の協力により制作された、造本技術・装幀デザインが優秀な本で、特に次の条件を備えているものとする。

- 造本目的と実用性との調和がとれていて、かつ美しく、かつ本としての機能を發揮しているもの。
- 編集技術ならびに表紙、カバー、本文デザインが創造性に富み、将来に示唆を与えると認められるもの。
- 印刷・製本技術がとくに優れているもの。
- 材料の選択がとくに優れているもの。

## 作品募集要項

出品資格——出品書籍の制作に関わった者

出品規定——1—2025年1月1日から2025年12月31までに初版発行された書籍(奥付記載日)が対象。改訂版・新装版は対象とするが、復刊・複刻本、過去に入賞したものは対象外。

2—出品は、1冊を1点と規定し、上下巻、全集、撰集等、複数冊で一つの作品(シリーズ等も含め)となる場合も、1冊につき1点とみなす。但し、該当の発行年の書籍に限る。

3—翻訳作品については、日本オリジナル装幀に限り、審査の対象とする。

•そのほか詳細につきましてはweb申込フォームを御覧ください。

出品部門——6部門 [外国語版は内容により各部門へ出品]

1—文学・文芸[エッセイ]

2—芸術書

3—児童書・絵本

4—専門書[人文社会科学・自然科学書等]

5—語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史

6—生活実用書・文庫・新書・コミック・その他

出品料——6,050円[税込]/1点[1冊]

•本事業は、適格請求書発行事業者ではありません。

応募締切——2026年4月30日

## 出品方法

申込み、出品作品登録はwebからお手続きください。



Web申込みサイト:

「造本装幀コンクール」で検索

申込み・問合せ先: 造本装幀コンクール事務局

E-mail: zouhon@jpic.or.jp / Tel: 03-5211-7282 [平日10時-17時]

## 各賞

文部科学大臣賞	1点
経済産業大臣賞	1点
東京都知事賞	1点
審査員奨励賞	3点以内
日本書籍出版協会理事長賞	6点
日本印刷産業連合会会長賞	6点
読書推進運動協議会賞	
日本図書館協会賞	各1点
日本製紙連合会賞	
出版文化産業振興財団賞	

審査会——2026年6月予定

結果発表——2026年7月予定/主催者のホームページなど

# 出版統計

書籍	12月期	前年同月比	1~12月期	前年同期比	書籍出回り	12月期	前年同期比	1~12月期	前年同期比
新刊点数	5,594点	1.7	63,991点	▲2.0	推定出回部数	4,970万冊	▲1.4	64,963万冊	▲4.6
新刊推定発行部数	1,888万冊	▲5.1	22,322万冊	▲6.2	推定出回金額	666億円	2.3	8,718億円	▲2.0
新刊平均価格	1,387円	2.0	1,370円	2.9	推定出回平均価格	1,340円	3.8	1,342円	2.8
新刊推定発行金額	262億円	▲3.3	3,057億円	▲3.6	実売部数	12月期	前年同期比	1~12月期	前年同期比
月刊誌	12月期	前年同月比	1~12月期	前年同期比	書籍	3,534万冊	▲0.9	42,714万冊	▲2.6
発行銘柄数	1,639点	▲4.9	2,202点	▲2.7	月刊誌	3,958万冊	▲15.4	39,996万冊	▲11.6
推定発行部数	6,447万冊	▲13.4	70,006万冊	▲10.5	週刊誌	871万冊	▲18.4	11,499万冊	▲19.7
平均価格	833円	4.6	807円	3.7	実売金額	12月期	前年同期比	1~12月期	前年同期比
推定発行金額	537億円	▲9.4	5,648億円	▲7.2	書籍	480億円	2.9	5,939億円	0.0
週刊誌	12月期	前年同月比	1~12月期	前年同期比	月刊誌	328億円	▲11.3	3,195億円	▲8.6
発行銘柄数	66点	▲2.9	75点	▲3.8	週刊誌	41億円	▲14.7	513億円	▲17.9
推定発行部数	1,870万冊	▲12.0	24,308万冊	▲11.8	実売金額合計	848億円	▲4.0	9,647億円	▲4.1
平均価格	492円	4.9	465円	3.1					
推定発行金額	92億円	▲7.7	1,130億円	▲9.2					

- 銘柄数：月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
  - 部数：配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したもの。
  - 平均価格：部数を加重した加重平均価格（税別）
  - 金額：発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (TEL 03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

～印刷博物館「世界のブックデザイン 2024-25」トークイベント～  
**■第58回造本装幀コンクール受賞者〈受賞作〉を語る**  
 日時：2月28日（土）15時～16時半（参加費無料）  
 場所：印刷博物館研修室  
 内容：第58回造本装幀コンクール受賞者の橋詰冬樹（グラフィックデザイナー）、石川潤（宇都宮美術館専門学芸員）、畠ユリエ（グラフィックデザイナー）の3氏によるトークイベント  
**■審査の現場から—〈世界で最も美しい本 2025コンクール〉報告と解説**  
 日時：3月6日（金）18時15分～19時30分（参加費無料）  
 場所：オンライン（ZOOMウェビナー）  
 内容：世界で最も美しい本2025コンクールの審査の様子などについて、秋山伸氏（神戸芸術工科大学教授・多摩美術大学客員教授・名古屋芸術大学特別客員教授）が語る  
 詳細・申込先：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/s20251213.php>

## 編集後記

今月号にも読書バリアフリー関連の記事を掲載しましたが、今、シブヤフォント・仙台ふおんなど、ご当地フォントが広がりを見せているそうです。自分の出身地のご当地フォントを使った表紙のその土地が舞台になった小説があったら手に取ってしまいそうです。（あ）

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX : 03-6811-0959

Webサイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp/>